

# Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2016年5月24日

## ★為替・金利の動向

### 対円レート推移

(2016年4月28日～2016年5月20日) ※単位は円

	4月28日	5月6日	5月20日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	13.46	13.12	13.17	-2.2%
スウェーデン・クローナ	13.56	13.24	13.18	-2.8%
デンマーク・クローネ	16.68	16.44	16.58	-0.6%
ユーロ(フィンランド)	124.12	122.34	123.28	-0.7%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2016年4月28日～2016年5月20日)、北欧4カ国の通貨は対円で下落しました。

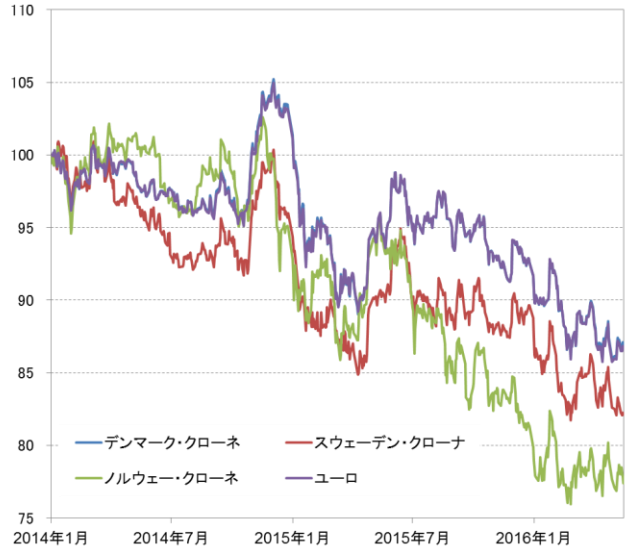
短期金利のマイナス幅が大きいスウェーデンのクローナが特に大きく下落しました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

### 対円レート推移

(2014年1月6日～2016年5月20日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

### 銀行間取引金利3カ月物推移

(2016年4月28日～2016年5月20日) ※単位は%

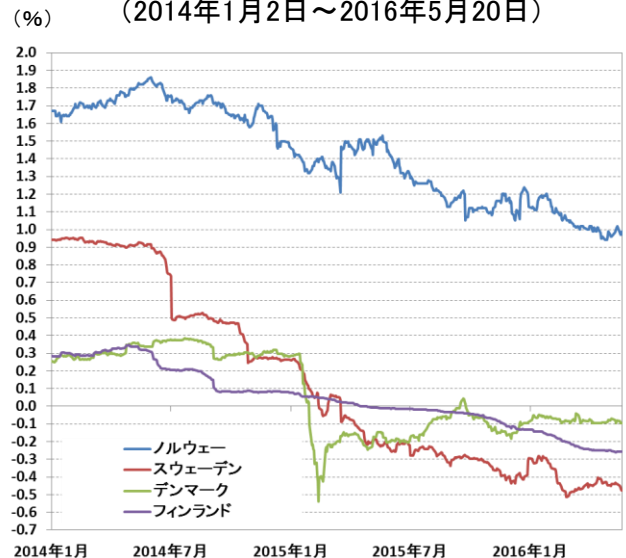
	4月28日	5月4日	5月20日	期間中変動幅
ノルウェー	0.960	0.960	0.990	0.030
スウェーデン	-0.449	-0.442	-0.476	-0.027
デンマーク	-0.088	-0.070	-0.098	-0.010
ユーロ圏(フィンランド)	-0.252	-0.253	-0.258	-0.006

期間中(2016年4月28日～2016年5月20日)、北欧4カ国の銀行間取引金利はノルウェーを除いて低下しました。

5月12日に中央銀行が政策金利を据え置いたノルウェーの銀行間取引金利は上昇しました。

### 銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2016年5月20日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

## ☆北欧ニュース

### ＜デンマーク：OECD デンマークの住宅バブルリスクを警告＞

デンマークでは、マイナスの政策金利が続いていますが、OECD（経済協力開発機構）は、マイナス金利がデンマークの住宅市場と家計債務に及ぼす悪影響について警鐘を鳴らしました。マイナス金利が経済成長に及ぼす影響は限定的ですが、不動産などの資産へ資金が流入しており、OECDは、デンマークにおいて住宅バブルの懸念が強まっているとの見方を示しました。また、借入コストが再び上昇すれば、家計が持続不可能な債務リスクに晒される危険性があるとも言及しています。

### ＜スウェーデン：銀行従事者、中央銀行総裁の2017年任期満了後の継続を望まないとの見方＞

スウェーデンの大手銀行従事者は、中央銀行は既に十分すぎるほどの緩和を行ったと考えており、中央銀行のStefan Ingves総裁は、2017年末の任期満了後に続投するべきでないと考えていることが明らかになりました。同調査は、ブルームバーグがスウェーデン大手銀行5行のトレーダーやアナリスト147名を対象に行ったもので、約80%がこれ以上の緩和策は行うべきでないと回答し、約74%が総裁の交代を望んでいると回答しました。スウェーデンでは、マイナス金利導入以来、住宅市場の過熱や銀行の収益悪化を巡り中央銀行に対する批判が強まっています。

### ＜フィンランド：ノキアの携帯電話部門の再起を望むフィンランド＞

ノキアは、携帯電話部門に再参入する計画を発表しました。国を代表する企業であるノキアがスマートフォン分野で、アップルやサムソンにリードされ、携帯電話部門をマイクロソフトに売却して以来、フィンランド経済は大きな打撃を受けました。ノキアの人員削減に加え、パルプ産業の停滞や、隣国ロシアとの貿易の減少が影響し、フィンランドの失業率は約9%で高止まりしており、打開策が求められるなか、今回のノキアによる発表は、フィンランド国民に大きな歓迎をもって受け止められました。既にグーグルの 안드로이드 やアップルの 아이폰 が大きくリードしている市場に再参入することは難しいとの見方が大勢ですが、ノキアのブランドが持つ高い信用力やデザイン性を武器に、インドなどの新興市場から再起のチャンス进行う考えもあるようです。

### ＜ノルウェー：ノルウェーの消費者信頼感が一段と悪化＞

ノルウェーの消費者信頼感が、1990年代初頭の深刻な景気後退以来最も低下していることが明らかになりました。Finance Norway（ノルウェー金融連盟）が発表した第2四半期の消費者信頼感指数はマイナス16.5と前四半期から一段と低下し、ノルウェーの消費者が景気の先行きに対して悲観的になっていることを示しました。原油安とそれに伴う石油関連投資の縮小を背景に失業率が上昇し、消費者の節約志向が強まっているようです。一方、今年に入ってから、原油価格は回復傾向を辿っているため、今後の景気回復が期待されます。

出所：各種資料をもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



**BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。